

歯科診療について④

比較的に簡単で短時間で実施できる
一部の既存技術の評価の見直し

第1 現状と課題

平成18年度歯科診療報酬改定においては、平成17年に日本歯科医学会が実施した「歯科診療行為(外来)のタイムスタディー調査」の結果に、重要度、難易度、必要時間等に応じて、歯周基本治療、根管治療及び歯冠修復について評価の見直しを行ったところであるが、他方、比較的に簡単で短時間で実施できる一部の歯科医療技術についても、適正な評価を行うことが求められている。

第2 論点

歯科医療技術の適正な評価を行うとともに、歯科診療報酬体系の簡素化を図る観点から、比較的に簡単で必要時間の短い、ラバーダム防湿等一部の処置及び手術等に係る既存の技術については、基本診療料と包括的に評価することとし、併せて基本診療料の評価を見直してはどうか。